

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2025年 第3週

（1月13日～1月19日）

## ★県内での感染症発生状況

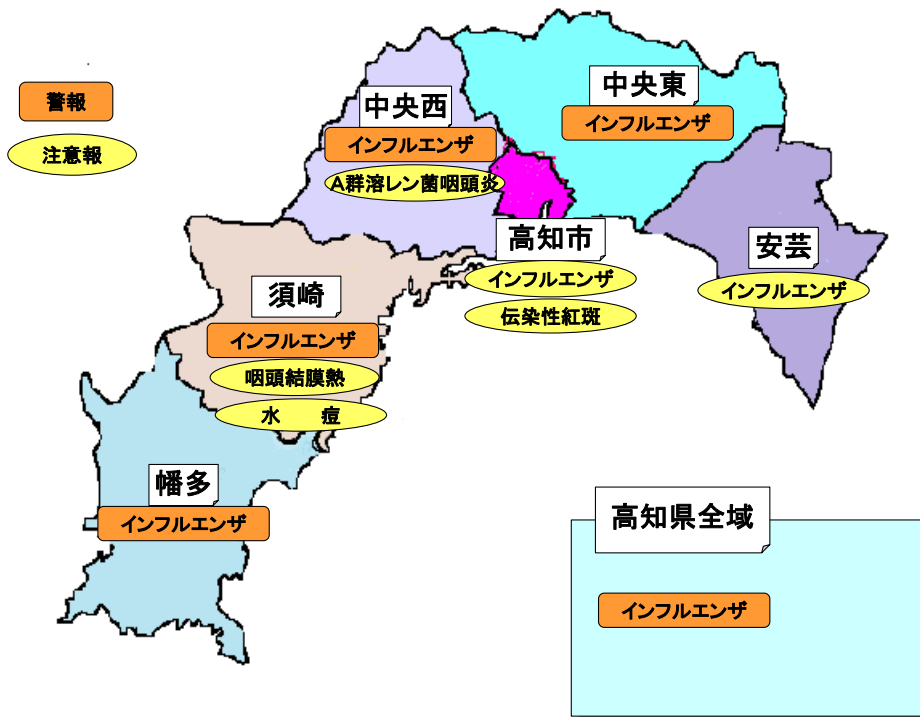
インフルエンザ・COVID-19 及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所管内別の傾向
インフルエンザ	🟢	32.14	高知市で急減、中央西、幡多、中央東、須崎、安芸で減少しています。
新型コロナウイルス感染症	🟡	9.18	安芸で増加していますが、中央西、中央東で減少しています。
感染性胃腸炎	🔴	2.36	幡多、安芸、高知市、中央東、須崎で急増しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	🟡	1.96	中央西、幡多、中央東で急増していますが、安芸で急減しています。
伝染性紅斑	🟢	0.72	幡多で急増していますが、高知市で減少しています。

### <推移の基準>

急増	🔴	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	🟢	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	🟡	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	🔵	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	🟡	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

## ★地域別警報・注意報状況



## ★週報の発行日

週報は、毎週「水曜日」の午後3時30分以降に発行しています。

ただし、「月曜日」「火曜日」「水曜日」が祝日の場合は、「木曜日」になります。

## ★気になる感染症

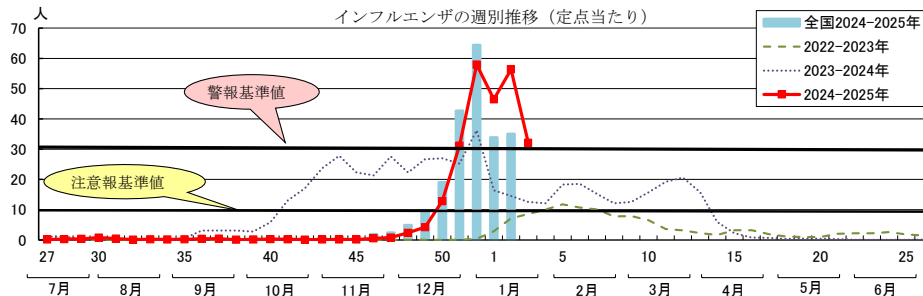
### インフルエンザ

県内では、県全域で減少していますが、5週連続で警報値を超えています。

また、学校等では休校、学年閉鎖、学級閉鎖が継続して報告されています。

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断では、インフルエンザA型が1,207件となっており、国内のインフルエンザウイルスの直近5週間（2024年第50週～2025年第週）の検出状況でも、A(H1)pdm09の検出割合が最も多く94.6%、次いでA(H3)が4.3%、B（ビクトリア系統）が1.0%となっています。

今後さらに流行するおそれがありますので、帰宅後の手洗いなどの感染予防や、咳エチケットを心がけましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた食事、人ごみを避けるなどの対策も有効です。いったん流行が始まると、短期間で多くの人へ感染します。保育園や社会福祉施設など集団生活の場では特に注意してください。



学校等における集団発生

※学校等欠席者・感染症情報システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第3週	—	—	—	2	—	—	2
	累計	1	—	—	3	—	—	4
学年閉鎖	第3週	1	—	1	1	—	2	5
	累計	1	4	5	5	7	2	24
学級閉鎖	第3週	—	1	4	1	—	—	6
	累計	—	6	12	2	—	1	21

### ●予防方法

～かからないために～

\*外出後、帰宅したらこまめに手を洗いましょう。

\*外出時はなるべく人ごみを避けましょう。

\*十分な栄養と休養をとりましょう。

～うつさないために～

\*咳やくしゃみなどが出るときは、マスクを着用しましょう。

\*インフルエンザが疑われるときには、外出はできるだけ控えましょう。

### ●学校感染症

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないとして規定されています。

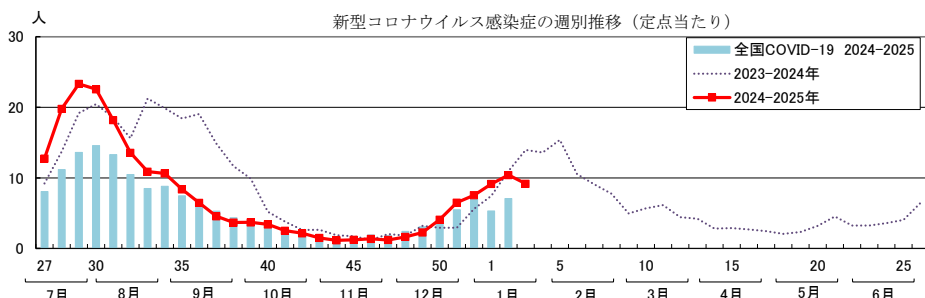
### ●厚生労働省 「インフルエンザ総合ページ」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infu/infu/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infu/infu/index.html)

## 新型コロナウイルス感染症

### ●定点医療機関からの報告数

週数	新規感染者数	定点当たり感染者数
第51週 12/16～12/22	286	6.50
第52週 12/23～12/29	332	7.55
第1週 12/30～1/5	402	9.14
第2週 1/6～1/12	458	10.41
第3週 1/13～1/19	404	9.18



県内では、前週から横ばいとなっており、全国でも同様の傾向となっています。

高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化するおそれがありますので、高齢の方と会ったり、通院するときは、マスクの着用を含めた感染対策をお願いします。

### ●予防方法・注意点

- \*手洗い、十分な換気、密接、密集、密閉といったいわゆる「三密」を避けるなどの基本的な感染対策をお願いします。
- \*重症化しやすい65歳以上の方等を対象に、お住まいの（住民票のある）市町村が新型コロナワクチン定期接種を実施しています。接種場所や費用等については、市町村にお問い合わせください。
- \*医療機関や高齢者施設など重症化リスクの高い方々が集まる場所を訪れる場合は、当該施設の定めるルールに従い、必要に応じてマスクの着用をお願いします。
- \*発熱等の症状のある方は、出勤や登校を控え、マスクを着用のうえ、医療機関を受診（特に高齢者・基礎疾患を有する方）すること又は自己検査を推奨します。
- \*軽微な症状での救急外来の受診や救急要請を控え、判断に迷う場合は「高知家の救急医療電話」（#7119）や「こうちこども救急ダイヤル」（#8000）への相談などにより、救急医療、救急搬送への負担軽減にご協力をお願いします。

### ●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過（発症日を0日目とカウント）し、かつ、症状が軽快した後1日を経過（軽快した日を0日目とカウント）するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。

### ★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	3	50歳代 女性	高知市
		1		70歳代 男性	

### ★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
3	遺伝性球状赤血球症	—	3	女	中央東	human parvovirus B19
3	インフルエンザ	39℃	3	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
3	インフルエンザ	40℃, 咳嗽, 鼻汁	4	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
3	インフルエンザ	39℃	7	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 (5 歳)
中央東	早明浦病院小児科	インフルエンザ A 型 11 例 (1~15 歳) COVID-19 3 例 (5~12 歳)
	JA 高知病院小児科	溶連菌性咽頭炎 2 例 COVID-19 1 例 インフルエンザ A 型 71 例 第 2 週 マイコプラズマ (lamp 法) 1 例
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A 型 2 例 (10 歳女、14 歳男：2 人ともワクチン未接種) COVID-19 1 例 (7 歳男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	インフルエンザ A 型 81 例 COVID-19 11 例 マイコプラズマ肺炎 3 例 (8 歳 2 人、9 歳)
	三愛病院小児科	hMPV 1 例 (1 歳男) マイコプラズマ肺炎 1 例 (4 歳女)
	近森病院内科	インフルエンザ A 型 23 例 (臨床診断 4 例)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 51 例 COVID-19 9 例 溶連菌感染症 3 例 伝染性紅斑 3 例 手足口病 2 例
	ふないキッズクリニック	ノロウイルス胃腸炎 1 例 (6 ヶ月女)
	細木病院小児科	溶連菌感染症 3 例 インフルエンザ A 型 24 例 COVID-19 1 例
中央西	くぼたこどもクリニック	COVID-19 4 例 インフルエンザ A 型 63 例 (臨床診断 10 例) 溶連菌感染症 4 例 マイコプラズマ感染症 1 例 (11 歳女)
須崎	もりはた小児科	インフルエンザ A 型 69 例 (前例 A 型) COVID-19 5 例 感染性胃腸炎 4 例 (ノロウイルス 1 人、ロタウイルス 1 人)
幡多	渭南病院小児科	マイコプラズマ感染症 2 例 (11 歳男、36 歳女) マイコプラズマ気管支炎 2 例 (1 歳女、3 歳男)
	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎 1 例 (3 歳女)
	さたけ小児科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (2~43 歳) ノロウイルス 2 例 (1~2 歳) インフルエンザ A 型 40 例 (0~14 歳) COVID-19 3 例 (1~16 歳)

★注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因病原体とする急性の呼吸器感染症で、世界中で流行がみられる。概要については 2024 年第 48 号 [2024/25 シーズン第 48 週 (シーズン：第 36 週~翌年第 35 週) までの概要] を参照いただきたい。

2024/25 シーズンのインフルエンザは、2024 年第 44 週に全国的に流行開始と判断される定点当たり報告数 1.00 を上回り、その後も定点当たり報告数は増加し、第 49 週は 9.03 (患者報告数 44,673)、第 50 週は 19.06 (同 94,259)、第 51 週は 42.66 (同 211,049)、そして第 52 週は 64.39 (同 317,812) であった。この定点当たり報告数 64.39 は、感染症法にもとづく現行の報告体制となった 1999 年以降最大であり、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行以前にインフルエンザの大きな流行が観察された 2017/18 シーズンのピークである 54.33 (2018 年第 5 週)、2018/19 シーズンのピークである 57.09 (2019 年第 4 週) を上回った。呼吸管理が必要な肺炎や脳症を伴うなど、入院を要する重症例の増加が懸念されるとともに、過去

のシーズンでは、第4～5週にかけて定点当たり報告数のピークがみられたため、今後の発生動向の推移が注目される。

本稿では2024年第52週までのインフルエンザ入院サーベイランスと、急性脳炎（5類感染症全数把握対象疾患）におけるインフルエンザ脳症について記述した（2025年1月7日現在）。

## 1. インフルエンザ入院サーベイランスについて

### ・概要

インフルエンザ入院サーベイランスは、全国約500カ所の基幹定点医療機関におけるインフルエンザの入院患者数や重症化の傾向を把握し、それらの情報を還元することによりインフルエンザの診療等に役立てることを目的とする。基幹定点医療機関はインフルエンザに罹患して入院した患者について年齢、性別に加えて重症度の指標となる入院時の医療対応（ICUの利用、人工呼吸器の使用、頭部CT、頭部MRI、脳波）の有無を週単位で届け出る。

### ・インフルエンザ入院患者報告数

2024/25シーズン、2023/24シーズンおよびCOVID-19流行前の2018/19シーズンにおける年齢群別のインフルエンザ入院患者報告数を表1に示す。2024/25シーズンは2024年第52週までに11,800例が報告された。

表1. 各シーズンの年齢群別報告数：インフルエンザ入院サーベイランス  
(2024/25シーズンは第52週まで)  
(2025年1月7日現在)

	2018/19シーズン	2023/24シーズン	2024/25シーズン
0～14歳	6,109	8,477	3,147
15～59歳	2,268	2,452	1,577
60歳以上	15,320	8,455	7,076
合計	23,697	19,384	11,800

\* 年齢の記載に不備のある5症例を除く

表2. 各シーズンの年齢群別の入院時の医療対応の実施状況：インフルエンザ入院サーベイランス  
(2024/25シーズンは第52週まで)

(2025年1月7日現在)

入院時の対応	年齢群	2018/19シーズン		2023/24シーズン		2024/25シーズン	
		処置件数	処置割合	処置件数	処置割合	処置件数	処置割合
ICU利用	0～14歳	142	2.3%	215	2.5%	85	2.7%
	15～59歳	117	5.2%	176	7.2%	162	10.3%
	60歳以上	622	4.1%	388	4.6%	316	4.5%
人工呼吸器使用	0～14歳	81	1.3%	118	1.4%	55	1.7%
	15～59歳	86	3.8%	101	4.1%	89	5.6%
	60歳以上	474	3.1%	225	2.7%	158	2.2%
MRI又は脳波	0～14歳	364	6.0%	407	4.8%	172	5.5%
	15～59歳	94	4.1%	79	3.2%	47	3.0%
	60歳以上	345	2.3%	188	2.2%	142	2.0%

注) 処置割合：各年齢群の処置件数を表1に示すそれぞれのシーズンにおける各年齢群報告数で除して算出

各シーズンの年齢群別の入院時の医療対応状況を表2に示す。2024/25シーズンにおける15～59歳の年齢群では、ICU利用及び人工呼吸器使用の年齢群別の処置割合は、2018/19シーズン第52週時点（ICU利用：2.4%、人工呼吸器使用2.4%）と比べ高い傾向であったが、他の年齢群はほぼ同程度であった。一方、MRI又は脳波の年齢群別の処置割合については、2018/19シーズン第52週時点（0～14歳：6.8%、15～59歳：6.0%、60歳以上：3.2%）と比べ、全体的に低かったが、特に15～59歳の年齢群では低い傾向が認められた。

なお、2024/25シーズンの流行開始時期は2018/19シーズンより早いため、解釈には注意が必要である。

## 2. 急性脳炎におけるインフルエンザ脳症について

### ・サーベイランスの概要

急性脳炎（脳症を含む）は 5 類感染症全数把握疾患であり、意識障害を伴って死亡した者、または意識障害を伴って 24 時間以上入院した者のうち、①38℃以上の発熱、②中枢神経症状、③先行感染症状の一つ以上の症状を呈した場合に診断される。診断した医師は診断から 7 日以内に届出なければならない。本項におけるインフルエンザ脳症は、急性脳炎（脳症を含む）の届出のうち、病型の病原体としてインフルエンザウイルスの記載があった報告例（以下、インフルエンザ脳症）とした。

### ・インフルエンザ脳症報告数の推移

COVID-19 流行前の 2018/19 シーズンはインフルエンザ脳症として 234 例（急性脳炎 807 例のうち）が報告された（表 3）。2020/21～2021/22 シーズンでは、インフルエンザ定点当たり報告数の減少が観察され、インフルエンザ脳症もそれぞれ 0 例、1 例と減少した。これらには COVID-19 流行に伴う感染症対策等の影響が考えられる。2022/23 シーズンからインフルエンザ定点当たり報告数の増加がみられた。インフルエンザ脳症も同様に増加し、2023/24 シーズンには 191 例（急性脳炎 658 例のうち）が報告され、COVID-19 流行前と同等の報告数となった。2024/25 シーズンは第 52 週までに 78 例のインフルエンザ脳症が届けられており、これは 2018/19 シーズン第 52 週時点の 32 例の報告数と比べて多かった。過去の報告からインフルエンザ脳症の報告数の推移はインフルエンザ定点当たり報告数の推移と関連していると考えられている。2018/19 シーズン第 52 週までの定点当たり累積報告数は 27.83、2024/25 シーズン第 52 週までの定点当たり累積報告数が 151.74 であることも、2024/25 シーズンのインフルエンザ脳症の増加と関連していると考えられる。

2024/25 シーズン第 52 週までに報告された 78 例のインフルエンザ脳症における年齢中央値は 7 歳、四分位範囲は 3～9 歳であり、15 歳未満が 91%（78 例中 71 例）を占めた。性別は男性が 41 例（53%）、女性が 37 例（47%）であった。検出されたインフルエンザウイルスは A 型が 65 例（83%）、血清型未記載が 13 例（17%）である（2025 年 1 月 7 日現在）。なお、2018/19 シーズンの第 52 週時点の 32 例においては、年齢中央値は 6 歳、四分位範囲は 4～8 歳であった。15 歳未満が 88%（32 例中 28 例）を占め、患者の年齢層に関しては概ね同様であった。

表3. 各シーズンにおける急性脳炎の届出数とインフルエンザ定点当たり報告数の累計

(2024/25 シーズンは第52週まで)  
(2025年1月7日現在)

	2017/18	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25
急性脳炎の年間届出数	698	807	719	344	354	524	658	235
うち病型にインフルエンザと記載がある届出数	171	234	258	0	1	44	191	78
インフルエンザ定点当たり報告数の累計	405.1	316.45	203.55	0.21	0.4	163.42	544.05	151.74

### まとめ

2024/25 シーズンのインフルエンザは定点当たり報告数が 2024 年第 44 週に全国的な流行開始と判断される 1.00 を上回り、2024 年第 52 週には 64.39 となった。また、基幹定点医療機関から報告されるインフルエンザ入院サーベイランス報告数は、2024 年第 36～52 週の累積報告数が 11,800 例となった。年齢群別の ICU 利用及び人工呼吸器使用の処置割合は 15～59 歳において 2018/19 シーズン第 52 週時点の同年齢群と比べ高い傾向であった。一方、5 類全数把握疾患である急性脳炎におけるインフルエンザ症例（インフルエンザ脳症）の報告数は、定点当たり報告数の動向とおおむね同様の傾向で推移した。2024/25 シーズンの発生動向は過去のシーズンの発生動向とは異なる動きを示すことから、今後の定点当たりの報告数や入院サーベイランスにおけるインフルエンザによる入院患者数の動きやインフルエンザ脳症の動向に注視する必要がある。

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階  
TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは 2025 年 1 月 20 日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。



# ★高知県感染症情報 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

第3週 令和7年1月13日(月)～令和7年1月19日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	疾病名	保健所							計	前週	全国(2週)	高知県(3週末累計)		全国(2週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	R6/12/30～R7/1/19				R6/1/30～R7/1/12			
インフルエンザ (COVID-19(4))	インフルエンザ	104	326	389	206	120	269	1,414 ( 32.14 )	2,480 ( 56.36 )	172,417 ( 35.02 )	5,939 ( 134.98 )	314,657 ( 68.96 )			
	新型コロナウイルス感染症	24	65	134	57	50	74	404 ( 9.18 )	458 ( 10.41 )	34,857 ( 7.08 )	1,264 ( 28.73 )	57,226 ( 12.54 )			
小児科 (25)	咽頭結膜熱					2		2 ( 0.08 )	3 ( 0.12 )	981 ( 0.31 )	5 ( 0.19 )	1,292 ( 0.45 )			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	19	8	5	13	49 ( 1.96 )	38 ( 1.52 )	5,417 ( 1.73 )	108 ( 4.15 )	7,026 ( 2.43 )			
	感染性胃腸炎	6	14	22		4	13	59 ( 2.36 )	16 ( 0.64 )	12,935 ( 4.13 )	87 ( 3.35 )	15,839 ( 5.48 )			
	水痘					2		2 ( 0.08 )	5 ( 0.20 )	1,098 ( 0.35 )	9 ( 0.35 )	1,465 ( 0.51 )			
	手足口病		3	6				9 ( 0.36 )	8 ( 0.32 )	515 ( 0.16 )	19 ( 0.73 )	748 ( 0.26 )			
	伝染性紅斑		3	12			3	18 ( 0.72 )	23 ( 0.92 )	2,929 ( 0.94 )	46 ( 1.77 )	3,358 ( 1.16 )			
	突発性発疹		1	1		1	1	4 ( 0.16 )	6 ( 0.24 )	634 ( 0.20 )	11 ( 0.42 )	773 ( 0.27 )			
	ヘルパンギーナ							( )	( )	30 ( 0.01 )	( )	40 ( 0.01 )			
	流行性耳下腺炎							( )	2 ( 0.08 )	84 ( 0.03 )	2 ( 0.08 )	122 ( 0.04 )			
	RSウイルス感染症			2				2 ( 0.08 )	( )	1,058 ( 0.34 )	2 ( 0.08 )	1,505 ( 0.52 )			
眼科(3)	急性出血性結膜炎							( )	( )	47 ( 0.07 )	( )	56 ( 0.09 )			
	流行性角結膜炎							( )	1 ( 0.33 )	773 ( 1.12 )	1 ( 0.33 )	897 ( 1.43 )			
基幹(8)	細菌性髄膜炎							( )	( )	11 ( 0.02 )	( )	19 ( 0.04 )			
	無菌性髄膜炎							( )	( )	16 ( 0.03 )	( )	23 ( 0.05 )			
	マイコプラズマ肺炎			5			3	8 ( 1.00 )	15 ( 1.88 )	531 ( 1.11 )	26 ( 3.25 )	898 ( 1.87 )			
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							( )	( )	2 ( )	( )	2 ( )			
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							( )	( )	4 ( 0.01 )	1 ( 0.13 )	16 ( 0.03 )			
計 (小児科定点当たり人数)	134 ( 35.00 )	416 ( 43.27 )	590 ( 44.24 )	271 ( 69.75 )	184 ( 49.50 )	376 ( 50.38 )	1,971 ( 47.12 )			234,339	7,520 ( 174.83 )	405,962			
前週 (小児科定点当たり人数)	189 ( 49.25 )	604 ( 61.07 )	999 ( 73.15 )	386 ( 97.50 )	258 ( 66.50 )	619 ( 77.88 )		3,055 ( 70.81 )							

注 ( ) は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関)定点当たり人数

第3週

定点名 (定点数)	疾病名	保健所							計	前週	全国(2週)	高知県(3週末累計)		全国(2週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	R6/12/30～R7/1/19				R6/1/30～R7/1/12			
インフルエンザ (COVID-19(4))	インフルエンザ	26.00	32.60	27.79	51.50	30.00	33.63	32.14	56.36	35.02	134.98	68.96			
	新型コロナウイルス感染症	6.00	6.50	9.57	14.25	12.50	9.25	9.18	10.41	7.08	28.73	12.54			
小児科 (25)	咽頭結膜熱					1.00		0.08	0.12	0.31	0.19	0.45			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.67	2.11	4.00	2.50	3.25	1.96	1.52	1.73	4.15	2.43			
	感染性胃腸炎	3.00	2.33	2.44		2.00	3.25	2.36	0.64	4.13	3.35	5.48			
	水痘					1.00		0.08	0.20	0.35	0.35	0.51			
	手足口病		0.50	0.67				0.36	0.32	0.16	0.73	0.26			
	伝染性紅斑		0.50	1.33			0.75	0.72	0.92	0.94	1.77	1.16			
	突発性発疹		0.17	0.11		0.50	0.25	0.16	0.24	0.20	0.42	0.27			
	ヘルパンギーナ									0.01		0.01			
	流行性耳下腺炎								0.08	0.03	0.08	0.04			
	RSウイルス感染症			0.22				0.08		0.34	0.08	0.52			
眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.07		0.09			
	流行性角結膜炎								0.33	1.12	0.33	1.43			
基幹(8)	細菌性髄膜炎									0.02		0.04			
	無菌性髄膜炎									0.03		0.05			
	マイコプラズマ肺炎			1.00			3.00	1.00	1.88	1.11	3.25	1.87			
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)														
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.01	0.13	0.03			
計 (小児科定点当たり人数)	35.00	43.27	44.24	69.75	49.50	50.38	47.12			174.83					
前週 (小児科定点当たり人数)	49.25	61.07	73.15	97.50	66.50	77.88		70.81							





# 病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

## 高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2025年 第3週)

